

陽明文庫講座

2018年
1月27日 土
13:00~16:00

“この世をばわが世とぞ思ふ”

藤原道長とその時代

より一千年

—『御堂関白記』を中心に—

◆『御堂関白記』からみる藤原道長の政治権力

大津 透 東京大学大学院人文社会系研究科・文学部教授

◆『紫式部日記』『栄花物語』からみる道長

池田尚隆 山梨大学教育学部・大学院教育学研究科教授

◆『御堂関白記』記述に見る道長の独自性

名和 修 公益財団法人陽明文庫常務理事・文庫長



『秋に月図』(陽明文庫所蔵)



国宝『御堂関白記』(陽明文庫所蔵)



酒井抱一『四季花鳥図屏風』左隻(陽明文庫所蔵)

主催：科学研究費補助金(基盤研究(S))

「天皇家・公家文庫収蔵史料の高度利用化と日本目録学の進展—知の体系の構造伝来の解明」
(研究課題番号：17H06117 代表者：東京大学史料編纂所 教授 田島 公)

共催：杉並区教育委員会、東京大学史料編纂所

後援：公益財団法人陽明文庫

科学研究費補助金(基盤研究(A))「摂関家伝来史料群の研究資源化と伝統的公家文化の総合的研究」
(研究課題番号：17H00926 研究代表者：東京大学史料編纂所 教授 尾上陽介)

会場：セシオン杉並(ホール) ■事前申込制 ■定員/500名 ■参加費無料



お問い合わせ
お申し込み先

お申し込みは裏面へ

東京大学史料編纂所 基盤研究(S) プロジェクト室 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
Tel:03-5841-5995 E-Mail:youmei@hi.u-tokyo.ac.jp
お申し込み専用フォーム：<https://www.hi.u-tokyo.ac.jp/footer/seminar-entry.html>

科研費
KAKENHI

陽明文庫講座

■開催日時：2018年1月27日(土) 13:00～16:00
■開場：12:30 ■定員：500名

ご好評をいただいた昨年度講座に引き続き、今年度も「陽明文庫講座」を実施させていただきます。

申込期間

12月1日(金)～12月22日(金)

申込方法

事前申込制

往復はがき、メール、専用フォームのいずれかでお申し込みください。

※申込時確認事項：氏名、住所、連絡先電話番号、人数(1通につき3名まで)

応募者多数の場合、申込期間後に抽選を行います。

当落結果・参加方法については、1月12日以降に

往復はがき、またはメールによりお知らせいたします。



お問合せ・申込先

東京大学史料編纂所 基盤研究(S)プロジェクト室

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 Tel: 03-5841-5995

E-Mail: youmei@hi.u-tokyo.ac.jp

※携帯電話でお申し込みの際には、受信拒否設定の解除、
PCメールの受信許可の設定等、ご対応をお願いいたします。

申込専用フォーム: <https://www.hi.u-tokyo.ac.jp/footer/seminar-entry.html>

※一部対応しない機種もあります。専用フォームご利用の方は、複数名でのお申し込みの場合、
追加の参加者氏名を備考欄にご入力ください。

※12月27日(水)～1月4日(木)の間、冬季休業につき、メールでのお問い合わせを含む受付業務を休止させていただきます。
ご不便をおかけいたしまして申し訳ございませんが、何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。

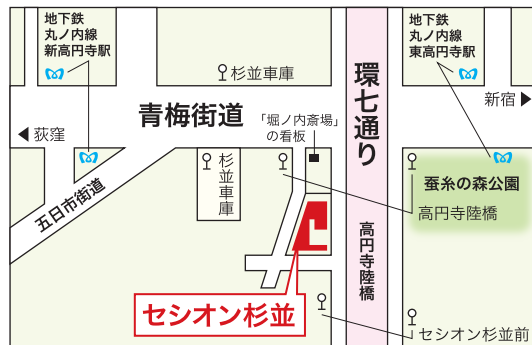
※応募時にご記入いただいた個人情報、本講座に関するご連絡にのみ使用いたします。

会場等のお問い合わせは

杉並区教育委員会生涯学習推進課文化財係

Tel: 03-3312-2111 内線 1666

アクセス



地下鉄丸の内線「東高円寺駅」より徒歩5分
または「新高円寺駅」より徒歩7分
関東バス(中野駅-五日市街道営業所)「杉並車庫」より徒歩5分
都営・京王バス(渋谷駅-阿佐ヶ谷駅)「セシオン杉並前」
または「高円寺陸橋」より徒歩2分

専用フォーム



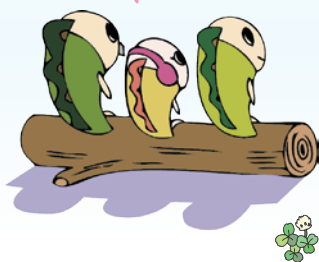
障害等のため、設備、情報保障等の配慮が必要な場合は、申し込み時にお知らせください。

■研究プロジェクトの内容と「陽明文庫講座」とは

日本学術振興会科学研究費補助金(略称:科研費)事業として
東京大学史料編纂所に研究拠点を置く本研究プロジェクトが主
催する本講座は、2007～11年度科研費(学術創成研究費)「目
録学の構築と古典学の再生-天皇家・公家文庫の実態復原と伝
統的知識体系の解明-」で本格的に始まった、陽明文庫所蔵近衛
家伝来資料の全目録のデータベース化や、貴重資料のデジタル
撮影とその画像公開の準備の取り組みに由来し、2011年より京
都を会場にスタートしました。上記科研は、2012～16年度科
研費(基盤研究(S))「日本目録学の基盤確立と古典学研究支援
ツールの拡充-天皇家・公家文庫を中心に-」に引き継がれ、
2014年より東京大学史料編纂所3階閲覧室の情報端末(PC)で
陽明文庫所蔵資料のデジタル画像を初めて公開しました。と同

時に研究成果を皆さんに広く知っていただくため、陽明文庫が
所蔵する貴重資料の数々をご紹介する公開講座「陽明文庫講座」
も開催し、7年間で通算22講義になり、昨年1月には杉並区で
も初めて開講いたしました。研究成果の一部は『近衛家家宝から
たどる 宮廷文化史-陽明文庫が伝える千年のみやび-』(笠間
書院 2016年)や『禁裏・公家文庫研究』4・5・6巻(思文閣出版
2012・15・17年)に公開されています。今回は、道長の「望月
の歌」が詠まれてから千年に因み、名和文庫長に加え、『藤原道
長事典』(思文閣出版 2017年)を編集・執筆された大津・池田
両教授をお迎えしました。各大学の学生・院生や、地域、一般の
皆様にも公開した形での講座となりますので、多くの方のご参
加をお待ちしています。

陽明文庫とは?



財団法人陽明文庫は1938年に当時の内閣総理大臣近衛文麿(近衛家29代当主)が仁和寺
の北西部に設立した特殊な歴史資料館で、藤原道長の自筆日記『御堂関白記』(国宝)、名筆
の集大成である「大手鑑」(国宝)等、五摂家の筆頭である近衛家が、宮廷文化の中心として
護り伝えてきた貴重な宝物を収蔵しています。近衛家に伝来した歴史的または美術的に重
要な史料、古文書、典籍その他の物品を保存管理するとともに、これらの調査研究により、
学術上、社会教育上の効用に供し、わが国の歴史や美術の研究に資することを目的として
います。2012年より公益財団法人に認定され、2013年には『御堂関白記』がユネスコの「世
界の記憶」に登録されました。現在の理事長は近衛忠輝氏で、文庫長は名和修氏です。

